



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月13日

上場会社名 株式会社 Olympicグループ 上場取引所 東
コード番号 8289 URL <http://www.olympic-corp.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下内 徹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 木村 芳夫 TEL 042-300-7200
四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	22,754	△5.1	206	13.9	152	7.9	50	△62.4
2023年2月期第1四半期	23,971	△6.5	180	△82.6	140	△86.1	134	△78.4

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 44百万円 (△66.7%) 2023年2月期第1四半期 132百万円 (△79.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	2.20	—
2023年2月期第1四半期	5.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第1四半期	69,071	26,170	37.9	1,139.29
2023年2月期	64,961	26,585	40.9	1,157.37

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 26,170百万円 2023年2月期 26,585百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期（予想）	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	48,000	1.6	1,050	290.0	950	370.0	450	219.4	19.59
通期	95,000	3.3	2,200	598.3	2,000	—	1,000	820.8	43.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期1Q	23,354,223株	2023年2月期	23,354,223株
② 期末自己株式数	2024年2月期1Q	383,501株	2023年2月期	383,501株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期1Q	22,970,722株	2023年2月期1Q	22,970,774株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ

「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年3月1日から2023年5月31日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による入国者の水際対策が4月29日に解除となり、感染法上の位置づけも5類に移行するなど、段階的に制限は緩和され、国内の消費活動には回復の兆しが見られるものの、円安のほか、ウクライナ情勢の長期化を起因としたエネルギーコスト及び原材料価格の高止まりとそれに伴う物価上昇による消費者マインドの変化等、不透明な状況が続いております。

小売業におきましても、食料品価格や電気料金など、様々な価格の上昇が相次いだことにより生活防衛意識が高まり、節約志向が一段と強まるなど、景気の先行きの不透明感は依然として高く、予断を許さない状況となっております。

このような状況の中、お客様のニーズに応えるべく様々な施策を継続しつつ、業容の拡大に向けて営業活動を行ってまいりました。

食品分野におきましては、独自性の高い商品で店舗の魅力を高めながら店舗規模に応じた商品構成への転換を進め、同時に作業効率の改善を図ってまいりました。

ディスカウント分野におきましては、日用必需品を中心とした品揃えにより、季節や地域のお客様のニーズに対応できる売り場づくりを進め、売場構成の見直しも伴う改装を行うなど、既存店舗の集客力の向上に努めてまいりました。

専門店分野におきましては、ペット専門会社の㈱ユアペティアでは、動物病院を経営する㈱動物総合医療センターと連携した総合サービスのペットショップとして、ご来店いただいたお客様に高いご満足を提供できるよう、接客サービスの向上に努めてまいりました。DIY・ガーデニング専門会社の㈱おうちDEPOでは、職人さんにとって便利な店をコンセプトとし、プロのお客様のきめ細かい需要に応じてまいりました。自転車販売会社の㈱サイクルオリンピックと自転車企画製造会社の㈱OSCサイクルでは、独自商品を打ち出しながら、店舗では接客・修理技術のさらなる向上を図り、お客様に繰り返しご来店いただけるお店づくりに努めております。

上記の方針に基づきながら、厳しい経営環境の中でも業容の拡大に向け新規出店も積極的に推進しており、3月にはディスカウントストア「Olympic亀有店」（東京都葛飾区）、食品とディスカウントの複合店「Olympic戸田店」（埼玉県戸田市）を出店するとともに、Olympic千葉東店を増床する形で「おうちDEPO千葉東店」（千葉県千葉市）、スーパーマーケットOlympic葛西店に併設する形でサイクル専門店「サイクルオリンピック葛西」（東京都江戸川区）を出店いたしました。

今後におきましても、6月にスーパーマーケット「Olympic森下店」（東京都江東区）をすでに出店しており、7月にはスーパーマーケット「Olympic西亀有店」（東京都葛飾区）を出店する予定であります。

経費面では、グループ全体を通じた店舗運営と作業改善により効率化を進め、費用対効果を検討しながら徹底した経費の節減を継続してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高に営業収入を加えた営業収益は227億54百万円（前年同四半期比5.1%減）となり、営業利益は2億6百万円（前年同四半期比13.9%増）、経常利益は1億52百万円（前年同四半期比7.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は50百万円（前年同四半期比62.4%減）となりました。

なお、当社グループは、小売事業の割合が高く、小売事業以外の事業に関しては重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ41億10百万円増加し、690億71百万円となりました。これは主に現金及び預金、売掛金、商品の増加などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ45億25百万円増加し、429億1百万円となりました。これは主に買掛金、借入金の増加などによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億15百万円減少し、261億70百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績につきましては、2023年4月13日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,929	5,943
売掛金	1,370	1,731
商品	10,004	10,660
その他	1,693	1,522
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	15,998	19,858
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,670	13,084
土地	15,414	15,414
その他(純額)	2,236	2,182
有形固定資産合計	30,321	30,681
無形固定資産	1,365	1,373
投資その他の資産		
敷金及び保証金	13,980	13,937
その他	3,295	3,221
投資その他の資産合計	17,276	17,158
固定資産合計	48,963	49,213
資産合計	64,961	69,071
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,393	8,563
短期借入金	16,701	17,962
未払法人税等	109	96
賞与引当金	243	471
その他	2,613	2,940
流動負債合計	27,060	30,035
固定負債		
長期借入金	9,219	10,752
退職給付に係る負債	19	19
資産除去債務	765	840
その他	1,310	1,253
固定負債合計	11,314	12,866
負債合計	38,375	42,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,946	9,946
資本剰余金	9,829	9,829
利益剰余金	6,908	6,499
自己株式	△293	△293
株主資本合計	26,391	25,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194	187
その他の包括利益累計額合計	194	187
純資産合計	26,585	26,170
負債純資産合計	64,961	69,071

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	22,338	21,146
売上原価	14,473	14,033
売上総利益	7,864	7,113
営業収入	1,633	1,608
営業総利益	9,497	8,721
販売費及び一般管理費	9,316	8,515
営業利益	180	206
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	0	1
その他	16	10
営業外収益合計	23	17
営業外費用		
支払利息	62	70
その他	1	1
営業外費用合計	63	71
経常利益	140	152
特別損失		
固定資産除却損	56	23
賃貸借契約解約損	—	17
特別損失合計	56	40
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	84	111
匿名組合損益分配額	△13	△23
税金等調整前四半期純利益	98	135
法人税、住民税及び事業税	64	65
法人税等調整額	△100	19
法人税等合計	△36	84
四半期純利益	134	50
親会社株主に帰属する四半期純利益	134	50

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	134	50
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△6
その他の包括利益合計	△2	△6
四半期包括利益	132	44
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132	44

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「小売事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。